

第2次総合計画施策評価シート《令和5年度分》

施策コード	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち
3	施策目標	5	青少年の健全育成
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		
	目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う		
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する		
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

目指すべきまちの姿 未来を担う子どもたちの健やかな成長を見守る体制が整っています。

●主要施策と概要【PLAN】	この1年間の成果及び反省点【DO】	担当課	評価【CHECK】
(1) 青少年健全育成体制の充実 ・ 県・団体・青少年問題協議会と連携し、街頭指導や有害環境の浄化等の活動を推進し、健全な社会環境づくりを推進します。 ・ 青年の学び直しや働きながらの学習機会の情報を発信し、若者の学びの促進と支援をします。	青少年健全育成大会で、ドレミファ合唱団による活動発表及び記念講演を行いました。	生涯学習課	C
(2) キャリア教育の促進・充実 ・ 中学校2年生を対象に市内の事業所において3日間の職場体験学習を実施し、地域の人々との交流を通して健全な勤労観・職業観を育てます。	令和5年度はコロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、コロナ禍よりも受け入れ可能事業所が増加しました。受け入れ事業所の増加により、生徒が多様な事業所で勤労観や職業観を体験することができました。	学校教育課	A
(3) 青少年の体験・交流活動等の促進 ・ 郷土学習や地域行事への参加、ボランティア活動等体験・交流活動や社会活動等の機会の充実を図ります。 ・ 市民ワークショップ等への参加・活動を促進し、地域の担い手となるよう地域と協働で育成・指導を図ります。 ・ 成人式の実行委員会を募り、自主的・創造的な式典とイベントを開催します。	二十歳のつどい実行委員会を募り自主的な式典とイベントを開催しました。今後も事業を継続し人材の育成を図ります。	生涯学習課	C
(4) 家庭・地域の教育力の向上 ・ 家庭・地域の連携を図り、教室・講座を開催します。また、広報・啓発活動を推進します。 ・ 放課後の子どもの居場所づくりを地域・学校等関係機関と連携・協働して推進します。	親子参加型体験学習事業として9講座開催し247名の参加があり、好評な結果に終わりました。今後も事業を継続していく必要があります。放課後の子どもの居場所づくりについては、近隣自治体の情報交換を行いつつ、地域・学校関係機関との連携・協働について方向性を見出していく必要があります。	生涯学習課	C

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
青少年の健全育成	%	14.7	↗	19.4

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 職場体験受入れ事業所数	事業所	101	133	0	0	15	119	110	120
(3) 交流社会活動を実施する青少年を含む団体数	団体	5	5	5	5	5	5	7	9
(4) 親子参加型の体験学習講座等参加人数	人	480	322	90	56	284	247	600	600

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(2)	職場体験学習事業	学校教育課	対象外	対象外
(3)	郷土学習や体験・交流活動等の活動支援	生涯学習課	体験を通じて行われる生涯学習は今後も計画的に行うことが必要と考えます。	現状維持
(4)	親子参加型体験学習事業	生涯学習課	生涯にわたって行われる生涯学習は今後も継続した開催が必要と考えます。	現状維持

施策の今後の方針【ACTION】

 青少年を取り巻く環境変化の変化に対応するよう多様な考えや柔軟な発想による問題解決能力が求められおり、自らが考え行動ができる力を身につけさせるために学校や関係機関と連携し、様々な交流事業や体験活動を実施していきます。

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	職場体験学習事業	学校教育課	学校教育グループ	令和6年5月7日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	5	青少年の健全育成	
	主要施策	2	キャリア教育の促進・充実	
	主要事業		職場体験学習事業	
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	市内3中学校の2年生全生徒を対象に、地元企業の協力を得て、各事業所における仕事の実体験をさせます。職場体験を通して、各生徒に望ましい職業観を養うことを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	愛知県教育委員会委嘱事業「魅力ある愛知キャリア教育プロジェクト」の一環として、各校に対し、生徒数に応じた事業費を交付します。生徒は、職業観を養うために社会人としてのマナーについて講話を聞き、各事業所で職場体験を行ったうえで、活動後に各自の活動を振り返って内容をポートフォリオにまとめます。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	魅力あるあいちキャリアプロジェクト委託料	165	魅力あるあいちキャリアプロジェクト委託料	165	魅力あるあいちキャリアプロジェクト委託料	100	魅力あるあいちキャリアプロジェクト委託料	100
	(補助額)	165	(補助額)	165	(補助額)	100	(補助額)	100
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	165	合計	165	合計	100	合計	100
	(補助額)	165	(補助額)	165	(補助額)	100	(補助額)	100

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値						目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度	
(2) 職場体験受入れ事業所数	事業所	101	133	0	0	15	119	110	100	

指標の分析 令和3年度は0件、令和4年度は15件と受入れ可能な事業所は減少したが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したため、コロナ禍前に近い事業所数まで増加させることができ、目標値を達成しました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	評価対象外
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	評価対象外
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	評価対象外
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3)	郷土学習や体験・交流活動等の活動支援	生涯学習課	生涯学習グループ	令和6年度5月8日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	5	青少年の健全育成	
	主要施策	3	青少年の体験・交流活動等の促進	
	主要事業		郷土学習や体験・交流活動等の活動支援	
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	青少年が、様々な体験活動や交流機会を通じて豊かな人間性を育み、郷土に親んでもらい、地域の担い手として健全に育成されるような取組を進めます。						主な協働・関連団体等	文化協会
								文化財保存会
事業概要	郷土や地域について学ぶ講座を開催するなど、青少年に体験活動や発表の機会を与えられるような事業を開催します。						関連する個別計画・根拠法令等	
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度		

■事業費(単位:千円)[DO]

事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
生涯学習講座 講師謝礼		15	生涯学習講座講 師謝礼	16	生涯学習講座講 師謝礼	16	生涯学習講座講 師謝礼	16
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計		15	合 計	16	合 計	16	合 計	16
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(3) 交流社会活動を実施する青少年を含む団体数	団体	5	5	5	5	5	5	7	9

指標の分析 少子化が進む中、交流社会活動を実施する青少年を含む団体数は変化がなく、5団体の存続となっています。

■事業の評価(CHECK)

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	交流活動を行う青少年を含む団体は活動を継続しており、事業を継続する必要があります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	青少年健全育成推進大会において、青少年を含む団体であるドレミファ合唱団に活動発表をしてもらいました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	全ての市民に対し体験学習講座など学習の機会を設けることは、公共性の高い事業であるため、市が実施する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	郷土や地域について学ぶ講座を開設するなど、青少年に体験活動や発表の機会を与えられるような事業は、総合計画の施策目標である「青少年の健全育成」を実現するために必要な事業であり、教育基本法第3条にある教育の機会均等につながります。

■今後の進め方(ACTION)

課長意見	方向性
体験を通じて行われる生涯学習は今後も計画的に行うことが必要と考えます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4)	親子参加型体験学習事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和6年5月8日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	5	青少年の健全育成	
	主要施策	4	家庭・地域の教育力の向上	
	主要事業		親子参加型体験学習事業	
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う			
	 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	親子で様々な体験活動や交流機会を通じて豊かな人間性を育むこと目的とします。					主な協働・ 関連団体等
事業概要	親子参加型体験学習講座を企画し、開催します。					
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	

■事業費(単位:千円)[DO]

事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	生涯学習講座 講師謝礼	155	生涯学習講座講 師謝礼	16	生涯学習講座講 師謝礼	16	生涯学習講座講 師謝礼	16
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	155	合 計	16	合 計	16	合 計	16
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(4) 親子参加型の体験学習講座等参加人数	人	480	322	90	56	284	247	600	600

指標の分析 新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行に伴い、市民が講座へ参加しやすい状況となったため、以前に近い参加者となりました。

■事業の評価[CHECK]

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行に伴い、市民が講座へ参加しやすい状況となったため、以前に近い参加者となった。今後も講座を継続する必要があると判断しています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	前年を踏襲するのではなく、講座の申し込み状況から市民のニーズに合う講座を開催するように工夫しています。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	全ての市民に対して生涯学習を受ける機会を設けることは、公共性の高い事業であるため、市が実施する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	親子参加型体験学習講座事業は、体験学習を通じて親子のコミュニケーションを密にし、総合計画の施策目標である「青少年の健全育成」の実現につながります。

■今後の進め方[ACTION]

課長意見	方向性
生涯にわたって行われる生涯学習は今後も継続した開催が必要と考えます。	現状維持